

白銀中学校地区のまとめ
(白銀中・白銀小・白鷗小)

1. 概要

(1) 児童・生徒数(カッコ内は通常学級数)

| | 6 年前 | | 現在 | | 6 年後 | |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 児童生徒数 | 通常学級数 | 児童生徒数 | 通常学級数 | 児童生徒数 | 通常学級数 |
| 白銀中 | 452 | 13 | 457 | 14 | 295 | 9 |
| 白銀小 | 455 | 16 | 350 | 12 | 275 | 10 |
| 白鷗小 | 647 | 20 | 476 | 16 | 321 | 12 |

(2) 部活動

| | 運動部 | | | | | | | | | | | | | | | | 文化部 | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|------|----|--------|----------|------|----|--------|----|----|----|--------|----|--------|--------|-----|---------|-----|------|-----|-----|----|-----|--------|----|----|----|-----|--|
| | 陸上 | 器械体操 | 水泳 | バレーボール | バスケットボール | サッカー | 野球 | ソフトボール | 柔道 | 剣道 | 相撲 | ソフトテニス | 卓球 | バドミントン | ハンドボール | 新体操 | アイスホッケー | スキー | スケート | その他 | 吹奏楽 | 合唱 | バトン | コンピュータ | 科学 | 美術 | 家庭 | その他 | |
| 白銀中 | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | ○ | | | | | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | |
| 白銀小 | | | | | ● | ● | ● | | | | | ● | | | | | | | | | ● | | | | | | | | |
| 白鷗小 | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | |

(「○」: 部活動、「●」: 一定の時間以外はスポーツ少年団等の活動として活動「◎」: スポーツ少年団、愛好会等)

(3) 学区外通学

| 学校名 | 学区外 | 主な相手校 | 主な理由 | 備考 |
|-----|-----|--------------------------|-------------------------|----|
| 白銀中 | 流出 | 湊中 白銀南中 | 教育的配慮 | |
| | 流入 | 白銀南中 鮫中 | 教育的配慮 | |
| 白銀小 | 流出 | 白銀南小 青潮小 白鷗小 湊小 | 留守家庭 教育的配慮 兄弟姉妹関係 | |
| | 流入 | 白鷗小 青潮小 白銀南小 | 留守家庭 教育的配慮 | |
| 白鷗小 | 流出 | 白銀南小 白銀小 鮫小 | 留守家庭 教育的配慮 兄弟姉妹関係 | |
| | 流入 | 白銀南小 白銀小 鮫小 | 留守家庭 教育的配慮 | |

2. 寄せられた意見

※白中=白銀中、白小=白銀小、鷗小=白鷗小

| 区分 | 意見照会 | | 地域意見交換会 |
|--|---|------------|---|
| | 結果 | 記述意見(主なもの) | 当日意見・会場アンケート(当) |
| 1.通学区域 | 見直すべき | | 当 当 当 |
| | 白中 | 5/10 | |
| | 白小 | 8/15 | ①白銀中学校と白鷗小学校を交換したほうがよい。 ②岬台町内は中学校で分かれるが、新しい友達ができるというよさもある。 ③規則はともかく、実際は岬台地区の子どもは白銀中学校と白銀南中学校を選んで進学している。 |
| | 鷗小 | 4/14 | |
| 2.通学路 | 注意が必要 | | 当 当 |
| | 白中 | 4/10 | |
| | 白小 | 10/15 | ①栗沢道は歩道も無く道路に電柱が立っている。過去に死亡事故も起きており危険である。 ②栗沢道は道路を改修したことで、かえってスピードを出しやすくなってしまった。 |
| | 鷗小 | 4/14 | |
| 3.学校規模 過大:大きすぎる や大:やや大きい 適正:適正である や小:やや小さい 過小:小さすぎる | 見直すべき | | 当 |
| | 白中 | 9/1 | |
| | 白小 | 10/5 | ①意見照会の結果から見ると、1学級30人で3学級、小学校全体では540人が適当である。 |
| | 鷗小 | 11/1 | |
| 4.部活動 | 見直すべき | | |
| | 白中 | 2/10 | |
| | 白小 | 7/15 | ①先生にもっと関わってほしいのでスポーツ少年団方式ではなく部活動方式が望ましい。(白小) ②部活動は教員の大きな負担となっている。(鷗小) ③中学校にあるサッカー部が小学校にないのはおかしい。(鷗小) |
| | 鷗小 | 7/14 | |
| 5.適正配置 全般 | ①白銀地域は、中学校の数を減らすのではなく通学区域の見直しにより適正化を図るべきである。(白中) ②学区は、町内毎ではなく通学距離(道路・川など)で決定すべきである。(白中) ③学校統廃合については、特に小学校低学年の通学距離、通学時間等、防犯・交通安全面を考慮してほしい。(鷗小) | | 当 ①白銀地区3校(白銀中・白銀小・白鷗小)のバランスを崩さないように配慮してほしい。 |
| 6.その他 | | | 当 ①施設面は長年修理で間に合わせているが、もっと今現在子どもたちが置かれている環境のことを考えてほしい。 |

3. 論点の整理

| 学校 | 論点 | 備考 |
|-----|-------------------|--|
| 白銀中 | 意 ①学区の端に学校がある。 | ・大沢片平、山手三島などは湊中学校の方が距離的に近い。 ・白鷗小学校と位置を交換した経緯がある。 |
| 白銀小 | 他 ①児童数の減少が進んでいる。 | ・ピーク時の昭和44年には1,901人44学級、現在は12学級350人であるが、6年後には10学級275人と減少し、学年1学級という状況が出てくる。 |
| | 他 ②隣接する小学校と距離が近い。 | ・白鷗小学校までは、直線距離で約300メートルである。 |
| 白鷗小 | 意 ①中学校が分かれる。 | ・学区のうち岬台地区(142/476)は白銀南中学校、それ以外は白銀中学校が指定校である。 ※カッコ内は(地域児童数/全校児童数)である。 |
| | 他 ②児童数の減少が進んでいる。 | ・6年後(平成27年)321人となり、6年前(平成15年)の半分以下になる。 |

(意:寄せられた意見から導出したもの、他:その他、教育委員会で把握しているもの)